



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ nara9jyonokai@gmail.com  
☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
23号 2018年9月10日発行

九条の会奈良ネットワークが県交流会を開催しました。14地域・分野、21名の参加で交流が行われました。橿原九条の会から岡崎氏が挨拶。事務局から2017年9月から5月末までの取組の報告（ニュース21号2018年7月5日発行）を受けて、「臨時国会での発議を許さない運動をどうすすめるのか。国民投票に勝利する草の根の取組をどう広げていくのか意見の交流」を行いました。

## 交流内容

**ビジョン**：広い間口で勉強・発信をしている。日本をどう守るのかという声を上げてもいいのではないかと。**蟻の会**：3000万署名を平和の歌で訴えるために10万円かけて音楽設備購入。JR奈良駅で6回程行う。**広陵**：5月末1000筆目標達成。1115筆になる。8月23日世話人会で9月末の目標1300筆を決める。地域訪問活動を計画。職場・退職者のつながりに個人の手紙作成。対話が大事。署名を積み上げることが大事。9月19日五位堂駅での街頭署名の後、市民連合の集会に参加。**宇陀**：「戦争あかん宇陀地区ねっとワーク」として活動。憲法を勉強する会、八木駅前集会に参加。**葛城**：活動とまっている。戦争法に比べてとりくみ弱い。12回目戦争体験を聞く会120名参加。公民館・市役所にポスター、小・中学生に学校からチラシ配布。4月長谷川義史絵本ライブ若いお母さん参加。200名集まる。九条の会ニュース600名。署名してくれた人に「ニュース読んでほしい」と声をかけ、ニュース配布を増やしている。**斑鳩**：市民アクション74名賛同人。いかるがニュース発行。671筆集まる。**三郷**：毎月19日に王寺駅で街頭宣伝。7月町主催平和の記念式典に300名参加、署名・ビラ配布。戸別訪問をやりたい。**香芝**：今日世話人会を開き、「7月から一服してきたけど、3000万人署名を頑張ろう」と9月19日に署名活動とJR前集会に参加。**生駒**：月3回街宣署名活動。署名用紙とチラシを全世帯配布、地域訪問して回収。現在3041筆。参議院の選挙まで10月から街宣時間を3時間に増やす。**平群**：9月19日スタンディング準備。4月14日「改憲ストップ平群の会」開催。9月3日に世話人会で3000マン署名について相談する。400筆集約。**耳成**：9月16日「安倍ストップ！沖縄勝利」集会、10月7日記念集会を行う。2564筆集約。**桜井**：会員80名、目標400筆に対し、340筆。8月6日にはだしのゲンの上映。若いお母さんや子供も参加、39名参加。**釣り人**：会員が30名。個人で70名に訴え、450筆集約。9月19日に安倍顔のデコレーションを持参、後日畑に埋めて活用。**登美ヶ丘**：1000筆目標、741筆。ペア訪問計画。11月4日憲法カフェ計画。交流から「安倍統一行動・街頭署名、個別訪問、手紙作成の訴え」などの活動報告があり、「新しい地域・新しい層にどう切り込んでいくのか？行政の行事の中に参加していくことの意義。署名してもらった人にニュースでつないでいくなどの経験が交流されました。

## 九条の会奈良ネットワーク情勢と提起（市民アクションと北野氏の提起）

毎日新聞（9月3日）改憲に賛成（20%）反対（38%）分からない（33%）となっている。北海道大地震で自衛隊出動依頼で本来は消防・警察の初動体制なのに国民に自衛隊の存在の印象操作を行っている。安倍首相は総裁選での安倍3選の勢いに乗じて猛進させどんな手を使っても改憲発議を臨時国会で強硬突破しようとしている。発議を許さない世論を作ることが求められている。そのためには3000万署名を積み上げる事が大事。先の衆議院選挙で野党共闘票が1760万票、安保法制廃案の署名が1580万筆、プラス200万が野党票。3000万筆は改憲発議に加担した議員は再選されないということを実付ける数。そのために：

- ① 本気で1軒1軒責任をもっている地域を戸別訪問する。事前に「〇月〇日に署名にお伺いします」と書いたチラシと署名用紙を配っておくと署名をお願いしてもらいやすい。
- ② 街頭署名宣伝は大事な宣伝。その時署名をやってもらえなくても訪問すると署名してもらいやすい。
- ③ 9月19日のJR奈良駅前市民連合主催「安倍九条改憲 NO!安保法制廃止」集会を成功させ野党と市民の共闘をすすめる。

**3000万署名の目標実現に向けて草の根の活動をすすめ、安倍改憲の発議をあきらめさせましょう。**

## 広陵の活動

6月以降一服状態。8月23日に世話人会を開き、7月1日九条の会のアピール、7月22日の市民アクションの提起を受け、自民党単独でも改憲を強行するとの安倍首相の発言に危機感を感じ、3000万署名を積み上げストップさせないといけなと新たに目標を設定しました。9月9日10日11日と地域訪問を計画。昨日は雨で、今日4時から1時間半5人参加で35軒訪問しました。25軒の対応で23筆集まりました。九条の会のアピール賛同者、以前訪問したけど留守だった家、賛同してもらえそうな家をリストアップして署名のお願いに行きました。対応してくれる人が多く、「安倍政権はホントにひどい。かってに独断できめていく」などの批判も多い、一方「わからない」との方への対話なども行いました。家族が留守のところは署名用紙を預かって届けてもらうなど元気の出る活動となりました。対応出来ていないところも多くあるので来週も行います。個人で集めてもらった署名12筆を加えて、今日35筆。合計1150筆となりました。

## 2018年8月6日 桜井九条の会 「平和のつどい」

今年は、「平和を語るつどい」ではなく、子どもたちにも被爆の実相を知ってもらおうとアニメ「はだしのゲン」の上映会としました。子どもも含めて31名の参加があり、半分の方から感想文をいただきました。「いろいろないのちをとって、せんそうはよっぽどこわいだなとおもいました。したくもないしやられたくもないです」小学生の感想です。偶然！「73年前の8月6日も月曜日だった」わたしの感想ですが・・・



## 2018年8月15日 平城ニュータウン九条の会 敗戦記念日戦争写真展

高の原駅前前で4時から5時まで広島、長崎の被爆写真と第2次世界大戦の戦火や戦地の写真を展示しました。駅に向かいながらチラッと見ていく人、ゆっくり立ち止まってじっと見入る人達。写真を見て立ち去ろうとした若い男性に3000万署名をお願い、最初は無関心そうだったのに「海外でも戦争出来る自衛隊に変わってしまう」との説明に署名をしてくれました。「頑張ってください」と言いながら核廃絶署名にも名前を書いてくれました。6月23日沖縄戦没者追悼式で朗読した中学3年生相良倫子さん「生きる」の詩をチラシにして100枚配りました。

## 2018年8月11日(土) 上牧平和企画実行委員会

### 「戦争体験を聞く会」

上牧2000年会館で第12回かんまき平和のつどいが開かれました。瀧本邦慶氏が「語り部の遺言—脳梗塞を乗り越えた96歳元海軍兵がいま、伝えたいこと—」を90分間、戦争がどのようなものか、万感の思いを叫ぶように訴えられました。会場一杯に参加した約110名(立錐の余地なし)中に、若い人や高校生・中学生も聞き入っていました。最後に「私は若者を大事にする。若者に言いたい。自分の命は自分が守ってほしい」と結ばれ、参加者に改めて戦争の罪悪と政府の嘘に騙されないことを訴えられる語り部の魂の叫びでした。瀧本氏の本「96歳 元海軍兵の『遺言』」(朝日選書)も参考にして下さい。瀧本さんへの連絡方法は九条の会奈良県ネットワークのホームページの活動報告ページを参照。

## 2018年8月12日 白樺九条の会 終戦記念日映画会

### 「24の瞳」

映画「24の瞳」を上映しました。木下恵介監督、高峰秀子主演 昭和29年に上映された、最高の日本映画です。来場者は28人でした。上映後、映画鑑賞会をしました。貧しかった時代を思い出された、大石先生と児童の今では考えられない教育だ、現在の先生方の忙しい時代と違う、懐かしい俳優が多く出演 されたいなど、30分の鑑賞会を終了しました。皆さんからお礼を頂き、また、来年も実施する元気をいただきました。



奈良市民連合主宰  
安倍9条改憲 No.1、安保法制廃止 9.19 総決起集会

9条の会は呼びかけます  
市民のみなさん  
声を上げよう

9/19  
JR 奈良駅東口  
18:30

自衛隊が私たちに何をしてくれるのか。彼らはなにをすべきか。

●自衛隊の役割  
自衛隊は「平和維持」を目的として、国際平和協力活動に積極的に参加している。また、国内では災害救助や防災活動にも貢献している。

●自衛隊の装備  
自衛隊は、最新の装備を備えている。例えば、F-35戦闘機や、新型の戦闘機など、最先端の兵器を保有している。

●自衛隊の訓練  
自衛隊は、厳しい訓練を受けている。例えば、極限環境での訓練や、高度な技術訓練など、様々な訓練を行っている。

●自衛隊の活動  
自衛隊は、様々な活動を行っている。例えば、海外での平和維持活動や、国内での災害救助活動など、多岐にわたる活動を行っている。

●自衛隊の未来  
自衛隊は、未来に向けて、さらなる発展を遂げる必要がある。例えば、最新の技術を取り入れることや、人材の育成など、様々な取り組みが必要である。